

山形県留学生日本語スピーチコンテスト

東北芸術工科大学 デザイン工学部
企画構想学科1年 林イラン(イム・イラン)

みなさん、こんにちは。初めまして。私は韓国人の留学生で東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科1年の林イランと申します。今日、ここに参加できて本当に嬉しいです。どうぞよろしくお願ひします。

みなさんが世界中で一番美しくて素晴らしいと思っっていることは何ですか？私は「お母さんの愛」が世界中で一番だと思ひます。お母さんは、私が痛い時、嬉しい時、悲しい時、私の気持ちを理解してくれます。私を無条件に信頼し、応援をしてくれるお母さんの変わらない愛こそ留学で家族と離れて生活している最近最も感じていることだからです。

私には奈帆さんという明るくて前向きな性格の友達がいます。奈帆さんのお母さんは家族だけではなく私にも美味しいご飯を作ってくれる優しいお母さんです。

初めて奈帆さんの家に招待をしてもらった時を思い出します。日本人の友達の家には行ったことがなかったので本当に楽しみでした。奈帆さんのお母さんはまるでだいぶ前から親しかった家族のように私たちを歓迎してくれました。食卓には私たちが好きな焼きそば、から揚げ、スシなど様々な種類の料理が並びました。

その時ふと、韓国では自分の家に他の人を招待する場合は祖父、祖母の誕生日や家族の記念日に親戚を招待することはありますが、大学生になった子どもの友達を家に招待することはほとんどないことに気が付きました。両親が共働きの夫婦が多くなって外食をする家庭が増え、子どもは中高生になってからは学校からの遅い下校、塾などで忙しいので友達を家に招待するのが難しいのです。私も小学校の低学年までは誕生日になると友達を家に招待してお母さんが作ってくれた料理でパーティをしたものでした。

このように韓国と違って大学生になった子どもの友達を家に招待して手料理を作ってくれたのは本当に印象的でした。その後、お母さんに感謝の心を込めて手紙と韓国のノリをプレゼントしました。それから私を時々招待してくれて奈帆さんのお父さん、弟さんとも一緒に食卓を囲み楽しくおしゃべりして仲良くなりました。

初めの時は、年上の日本人と上手く話せるかとても緊張しましたが、回を重ねるにつれ楽しくおしゃべりできるようになりました。今ではすっかり家族のような関係で打ち解けています。もう一つ、私が感動したのは「手作りのお弁当」です。

ある日、奈帆さんが大学にお弁当を二つ持ってきてその一つを私にくれました。もちろん、お母さんの手作り弁当でした。そして、前に頂いた時に美味しいと私が言った大好きなおかずがたくさん入っていました。食事は主に外食とインスタント食品ばかりの

私には涙が出るほど美味しいお弁当でした。日本にも私のお母さんがいると感じました。

韓国の両親は一人っ子の私がたった一人で留学生活をしていることをいつも心配していますが、奈帆さんの家族との交流のおかげで山形での留学生活を満喫しています。今は両親も私と仲良くしている友達の名前もみんな知っているし、いつも電話する時は奈帆さんの家族に感謝していると言っています。

韓国では毎年5月8日は「おぼいの日」という記念日です。「おぼい」というのは韓国語で両親という意味です。この日は感謝の心を込めて両親の胸にカーネーションを付けてプレゼントし、家族で楽しい時間を過ごします。今年の5月は、山形の両親、奈帆さんのお母さんとお父さんにきれいなカーネーションを贈りたいと思います。

今日、来てくださった奈帆さんのお母さんにもう一度感謝の心を伝えたいです。そして、同時にここにいるみなさんにもいつも無限の愛をくれるお母さんに「ありがとう」を伝えてほしいです。奈帆さんのお母さん、ありがとうございます。そして、これからもどうぞよろしくお願ひします。ご清聴ありがとうございました。